

## パラグアイの中等農業教育の行方

滋賀県立大学環境科学部生物資源管理学科 泉 泰弘  
名古屋大学大学院生命農学研究科附属農場草地学研究室 横田 浩臣  
(2000年3月14日-4月11日の期間、JICA短期専門家としてパラグアイに出張)

農業教育はその国の農業形態と密接に関連している。日本の農業高校においても戦後しばらくは農家出身の生徒が多かったが、現在では後継者問題が社会問題となるように、農家出身の生徒は少ない。

これと同じことがパラグアイでも起こりつつあるようだ。この10年間の経済の変化は激しいものがある。これが外貨収入の80%を挙げる農業に大きく影響している。パラグアイでは大農から小農まで幅広く存在し、1%の農民が農地の77%を占め、多くの農民は貧困にあえいでいる。国立の農業関連高校は全国で12校存在するが、兵役と授業料が免除であるために入学してくる生徒も多い。

このような状況の中で、農業高校では何を教育すべきか。また、農業に関する教科書がない国で、さらに教員の多くが農業高校出身者である現実のもと、どのように教育するか、課題は山積みである。

## パラグアイの農業教育の現場から

JICA専門家 吉田 章

この国の中等農業教育に携わり5年目になる。大方の教師は中等教育修了者が占め、採用・昇進・給与等の法規も全く整っていない。施設・設備・機材等は、何れも不足している。このことは農業教育に限ったものでなく、公立の小学校から大学まで共通している。これを大きく改善すべく、名古屋大学は農業教育研究研修会の開催、JICAの専門家推薦等、多くの貢献をしている。私もこれにいくつか、現地でのお手伝いのできたことを喜んでいる。

JICAのパラグアイ中等農業教育改善案件の実施時期については、9月末に「同国の政情/治安状況が現在不安のため、来年度以降に延期される」との連絡がICCAEに入りました。



## ナイジェリア大使がICCAEを訪問

9月19日午後、ナイジェリア大使Otioth閣下らの一行4名が、名古屋大学の当センターを訪問され、ICCAEスタッフと1時間余にわたり、今後の日本とナイジェリア間の国際教育協力に関する意見交換を行った。当日はあいにく名古屋大学の部局長会と重なっていたため、総長や生命農学研究科長は不在であったが、この懇談会には、ICCAEから竹谷裕之センター長をはじめ6名のスタッフが、また大学本部から戸倉国際交流課長が参加した。大使は、アフリカ全体の発展を展望するうえでのナイジェリアの重要性や、日本からの人的援助に対する期待について述べられた。その後、ナイジェリアの農業問題、農学分野での国際教育協力を行う際のナイジェリア側対応機関、ナイジェリアからの情報の入手方法等について、質疑応答が行われた。今後、ICCAEとナイジェリア大使館との間の情報交換を密にして、国際教育協力プロジェクトの可能性を探ることで合意した。



写真:前列中央右がナイジェリア大使、その左隣がICCAE竹谷センター長

## ニューフェース紹介



**加藤 恭子**(かとう きょうこ)  
[協カネットワーク開発研究領域・技術補佐員] (5月16日着任)  
昭和48年2月愛知県生まれ。名古屋大学農学部卒業。同大学大学院生命農学研究科博士課程前期課程修了。当センターでは協力人材データベースやホームページの維持管理を担当。趣味はスケート、散歩。



**榎原 大悟**(えのらはら だigo)  
[プロジェクト開発研究領域・研究機関研究員] (6月1日着任)  
昭和45年4月広島県生まれ。岡山大学農学部卒業後、同大学院修士課程、博士課程に進学。修士課程在籍中IRRIに留学。平成12年3月「イネの収量成立過程における耐塩性に関する研究」によって農学博士を取得。

## センター第2回オープンフォーラム

**テーマ** 「国際協力プロジェクトの評価:農学分野における人づくり協力を中心として」

日時/2000年12月6日(水) 13:00~18:00 会場/名古屋大学シンポジオン

- 基調講演**
- ODA評価の課題と展望: 牟田博光 (東工大・教育工学開発センター長 教授)
  - Impact Assessment in Agricultural Development Programs: Prof. Edward T. Kanemasu (The University of Georgia)
  - Participatory Evaluation of Participatory Research: Dr. Dindo M. Campilan (International Potato Center)
  - 国際協力事業団の評価と課題: 三好皓一 (JICA企画・評価部次長)

日時/2000年12月7日(木) 10:00~17:00 会場/名古屋大学豊田講堂 第一会議室

国内各機関の取り組み報告及び討論